

# 第1・2学年 国語科複式学習指導案

日時 平成22年9月10日(金) 5校時  
児童数 1年 男1名 計1名  
2年 男1名 女1名 計2名  
場所 1・2年教室  
指導者 阿部 みどり

## 第1学年

### 1 単元名

くらべて よもう

### 2 教材名

「じどう車くらべ」

### 3 単元について

#### (1) 児童観

入学してから、2つ目の説明文教材である。「いろいろなくちばし」では、「問い」「答え」の文型を学習した。補助教材として「しっぽのはたらき」にもふれている。その後、ほかの鳥についての説明文を何篇も書き、2年生に発表した。順序に気を付けて書くことはできるが、「を」を忘れやすいので、推敲するときに自分で気付いて直すようにさせたい。

読書量が多く、関連読書にも積極的に取り組んでいる。今回は3度目のブックウォークとなる。

#### (2) 教材観

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。

本教材は、「自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書く」ことを目標としている。

児童の大好きな自動車を取り上げた説明的な文章である。問題提起の段落を受けて、分かり易いさし絵とともに説明されている。「しごと」と「つくり」の因果関係がわかると更に知的満足が得られ、その文型に慣れて他の自動車についても説明してみたいであろう。楽しみながら読みの力をつけるのにふさわしい教材である。

#### (3) 指導観

第1次では、いろいろな自動車について話し合う。また、導入読書として関連図書をそろえ、ブックウォークを始める。単元のゴールを「じどう車くらべのつづきを書くこと」とし、児童に知らせておきたい。

第2次では、文章とさし絵を照らし合わせながら音読させ、「しごと」と「つくり」に分けて書き抜かせる。また、自動車の自慢を吹き出しにまとめさせる。3種類の車について読み取る中で、「しごと」と「つくり」の関係にも気付かせていきたい。

第3次ではそのほかの自動車について説明文を作らせる。2年生に発表し、自信をつけさせたい。

#### (4) 研究仮説に関わって

研究仮説手立て①「考えを深め、まとめに活かすための『書く活動』の工夫」にかかわっては、「しごと」と「つくり」の書き抜きや、吹き出しへの書き換えをさせる。また、第3次に3種類の自動車の説明文を書かせたい。

研究仮説手立て②「最終ゴールをイメージした単元計画の工夫」では、並行読書としてブックウォークを取り入れて興味関心を高め、第3次の活動にもつなげていきたい。

## 第2学年

### 1 単元名

だいじなところに 気をつけて読もう

### 2 教材名

「サンゴの海の生きものたち」 本川 達雄

### 3 単元について

#### (1) 児童観

2年生になってから、2つ目の説明文教材である。「たんぼのちえ」では、時間の順序に従って読むことを学習した。理由付けを表す言葉や、全体をまとめる言葉を学習した後、それらを使いながら、関連図書から題材を選び、説明文を書いた。主述に気を付けて書くことはできるが、想像力豊かに吹き出しに書くことが身についていない。

関連読書が好きで、1年生のときからブックウォークに積極的に取り組んでいる。

#### (2) 教材観

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。

本教材は、「海の生き物たちがどのようにかかわり合っているのかを読み取り、共生の仕組みの不思議に興味をもつ」ことを目標としている。

サンゴ礁を実際に見たことがなくても、映像などでその美しさを目にしたことはあるであろう。しかし、共生関係についての知識はないと思われる。また、本文に登場する生き物が多く、一読しただけでは理解できない内容になっている。したがって児童の知識欲はかきたてられるに違いない。この時期の2年生に適した教材である。

#### (3) 指導観

第1次では、導入読書として関連図書をそろえ、ブックウォークを始める。単元のゴールを「海の生きものについて教え合おう」とし、学習への目的意識をもたせる。

第2次では、それぞれの生き物の「特徴」と「かかわり合い」をしっかりと押さえるために、分けて書き抜かせる。さらに、それぞれの生き物になったつもりで吹き出しにまとめさせたい。

第3次では前時までの学習を生かし、ほかの生き物についての説明文を書かせる。「初め(問いかけ)・中・終わり」を意識させ、200字程度にまとめさせる。

#### (4) 研究仮説に関わって

研究仮説手立て①「考えを深め、まとめに活かすための『書く活動』の工夫」にかかわっては、単位時間における驚きや感動を、根拠をもって書かせたい。また、第3次では教材文にならない、説明文を完成させたい。

研究仮説手立て②「最終ゴールをイメージした単元計画の工夫」では、並行読書としてブックウォークを取り入れて興味関心を高め、第3次の活動にもつなげていきたい。

#### 4 単元の目標

##### 【関心・意欲・態度】

- ・自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読む。

##### 【読むこと】

- ・3種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら、内容の大体を読むことができる。
- ・語や文としてのまとまりを考えながら、声に出して読むことができる。
- ・乗り物の本などに興味をもち、探して読むことができる。

##### 【言語事項】

- ・片仮名で書く語を読んだり書いたりする。

#### 5 指導計画と評価規準（1年8時間・2年10時間）

#### 4 単元の目標

##### 【関心・意欲・態度】

- ・海の生き物たちの共生の仕組みの不思議について興味をもつ。

##### 【読むこと】

- ・「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。
- ・語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら、声に出して読むことができる。

##### 【言語事項】

- ・片仮名で書く語を文や文章の中で使う。

次	第1学年			第2学年			次
	評価規準	学習活動	時	学習活動	評価規準		
第一次	<b>【関・意・態】</b> ・自動車に興味をもっている。	・知っている自動車について話し合う。 ・ブックウォークを始める。	1	・サンゴ礁の海について交流する。 ・新出漢字を練習する。 ・ブックウォークを始める。	<b>【関・意・態】</b> ・サンゴ礁に興味をもっている。	第一次	
	<b>【読むこと】</b> ・文末の問いかけに気付き、自動車の何を「くらべ」るのかを考えている。	・教材文を読み、題名と問題提起文を読み取る。 ・第3次の計画を立てる。	2	・教材文を読み、片仮名を使って初発の感想を書く。 ・感想を交流する。 ・難しい言葉を調べる。	<b>【言語事項】</b> ・片仮名を正しく使って、感想を書いている。		
第二次	<b>【読むこと】</b> ・仕事と作りを書き抜き、バスや乗用車になって吹き出しを書いている。	・バスや乗用車の仕事と作りを読み取る。	3	・教師の書いたモデル文を読み、イメージをもつ。 ・第3次の計画を立てる。	<b>【読むこと】</b> ・提示された説明文を読み、見通しをもっている。	第二次	
	<b>【読むこと】</b> ・仕事と作りを書き抜き、トラックになって吹き出しを書いている。	・トラックの仕事と作りを読み取る。	4	・題名読みをする。 ・段落分けをする。 ・問題提起文を読み取る。	<b>【読むこと】</b> ・出てくる生き物などとともに、段落に分け、問題提起文を読み取っている。		
	<b>【読むこと】</b> ・仕事と作りを書き抜き、クレーン車になって吹き出しを書いている。	・クレーン車の仕事と作りを読み取る。	5	・イソギンチャクとクマノミの特徴を読み取る。	<b>【読むこと】</b> ・イソギンチャクとクマノミの特徴を文章から取り出している。		
第三次	<b>【読むこと】</b> ・はしご車の仕事と作りを調べ、説明文を完成させている。	・はしご車の説明文を完成させる。	6 本時	・イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取る。	<b>【読むこと】</b> ・イソギンチャクとクマノミが互いに守り合っている様子を、文章から探している。	第三次	
	<b>【読むこと】</b> ・書きたい自動車を選び、教材文にならって説明文を書いている。	・〇〇車の説明文を作る。	7	・ホンソメワケベラの特徴と大きな魚とのかかわり合いを読み取る。	<b>【読むこと】</b> ・ホンソメワケベラと大きな魚がかかわり合っている様子を、文章から探している。		
	<b>【言語事項】</b> ・出てきた片仮名を正しく読み書きしている。	・〇〇車の説明文を作る。 ・出てきた片仮名を正しく読み書きする。 ・学習のふり返しをする。	8	・本から、海の生き物について説明文に書きたい題材を選ぶ。 ・集めた材料をもとにして、説明文の組み立てを考える。	<b>【読むこと】</b> ・読んだ本の中から友達に紹介したい題材を選び、組み立てを考えている。		
			9	・説明文を書く。	<b>【読むこと】</b> ・組み立てをもとに、かかわり合いを表す言葉を使って書いている。	第三次	
			10	・説明文を発表し合い、感想を述べ合い、単元の学習を振り返る。	<b>【話・聞】</b> ・教科書以外の生き物にも興味をもって聞いている。 ・独自の感想を発表している。		

6 本時の指導

- (1) ねらい  
 ・教材文にならって、はしご車の説明文を完成させることができる。
- (2) 具体の評価規準  
 A：はしご車の仕事と作りを書き、3文以上の説明文を完成させている。  
 B：はしご車の仕事と作りの説明文を完成させている。  
 Cへの支援：図鑑などを見ながら、どんな仕事か、どんな作りかの言葉がけをしながら支援する。
- (3) 展開

6 本時の指導

- (1) ねらい  
 ・イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取る。
- (2) 具体の評価規準  
 A：両者がなぜ守り合っているといえるのか、自分なりの言葉で吹き出しを書いたり話したりできる。  
 B：両者が守り合っている様子を文章から探すことができる。  
 Cへの支援：ペープサートなどを準備しておき、文に添って動かしながら、捉えさせる。

段階	◇留意点・支援 ◆評価	学 習 活 動	形 態	学 習 活 動	◇留意点・支援 ◆評価	段階
つかむ・見通す 10分	◇微音読をさせる。  ◇紙版書	1 全文を音読する。  2 本時の課題を確認する。 はしご車はどんなしごとをし、どんなつくりになっているのだろう。		1 本時の課題を確認する。 イソギンチャクとクマノミは、どのようにまもり合っているのだろう。  2 課題解決のための見通しを確認し、学習範囲を音読する。	◇前時の学習を振り返りながら、課題を把握させる。 ◇紙版書  ◇答えを考えながら、⑤⑥段落を微音読させる。	つかむ・見通す 10分
深める 25分	◇前時までのワークシートの続きに書き込む。  ◇字は、急がず丁寧に書かせる。 ◇推敲して完成させる。 ◇早く終わったら、絵もかかせる。  ◆説明文を完成させることができたか。	3 ワークシートに、仕事と作りを書き込む。  4 書き込んだ仕事と作りをもとに、説明文を書く。		3 サイドラインを引く。  ・ サイドラインの箇所を友だちと交流する。  4 イソギンチャクとクマノミが相手を守る様子を書く。  5 イソギンチャクとクマノミの守り合いを劇化し、せりふを吹き出しに書く。	◇課題の答えだと思ったところにサイドラインを引かせる。 ◇意見が分かれた時は、話し合わせる。 ◇それぞれ担当を決め、ホワイトボードに書き、交換して確かめる。  ◇楽しく活動させながら、せりふを引き出す。 ◇1年生の邪魔をしないように。 ◆守り合っている劇をすることができたか。	深める 25分
まとめる 10分	◇ゆっくり読ませる。  ◇感想も交流させたい。	5 はしご車の説明文を2年生に発表する。  6 次時の学習内容を確認する。		6 どのように守り合っているかを1年生に発表する。 ・ 劇 ・ わかったこと  7 次時の学習内容を確認する。	◇大きな魚・小さな魚の役は教師がやる。 ◇「イソギンチャクが～あげるかわりに、クマノミが～あげます。」のように、共生関係がわかるように板書を見ながらまとめさせたい。	まとめる 10分